

事務連絡
令和4年1月7日

各都道府県・指定都市教育委員会学校体育主管課
各都道府県私立学校主管課
附属学校を置く各国公立大学法人担当課
各国公私立高等専門学校担当課 御中
独立行政法人国立高等専門学校機構担当課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課

スポーツ庁政策課学校体育室

スポーツ庁委託事業受託者主催による事業成果報告会の開催について

スポーツ庁では、学校体育における諸課題に対する取組について各団体に委託して実施しています。

本年度の取組においては、別添のとおり2団体から事業成果報告会の開催について連絡がありましたので、お知らせします。

については、都道府県・指定都市教育委員会学校体育担当課においては域内の市区町村教育委員会及び所管の学校に対し、都道府県私立学校担当課においては所轄の私立学校等に対し、国公立大学法人附属学校担当課においては関係する附属学校に対し、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課においては所轄の学校設置会社の設置する学校に対して周知くださるようお願いいたします。

なお、全国の感染状況の変化により実施について変更がある場合は、主催者より参加者に連絡しますので、御承知おきください。

【本件照会先】

スポーツ庁政策課学校体育室

指導係 斎藤、後藤

電話：03-5253-4111（内線2674）



令和2年度・令和3年度
スポーツ庁委託事業

放課後運動遊びプログラム 実施報告及びシンポジウムのご案内

「あそびバ！ラボ」の可能性を探る

日時

2022年1月29日(土)
13:30～16:00

プログラム

13:35～ 趣旨説明/実施報告

本事業の趣旨説明及び実施報告
鈴木 聡 東京学芸大学 教育学部 教授

13:50～ シンポジウム

「あそびバ！ラボ」の可能性を探る

司会 内田雄三 白鷗大学 教授

登壇者

兼田未加子 国分寺市立第七小学校
放課後子どもプランコーディネーター

柄澤 周 国分寺市立第七小学校指導教諭

小野光典 国分寺市立第七小学校主幹教諭

仁木拓雄 国分寺市立第七小学校主幹教諭

富田海人・遠山裕亮 他 東京学芸大学大学院

鈴木 聡 東京学芸大学 教育学部 教授

15:30～ まとめ

塩見英樹 スポーツ庁政策課 教科調査官

対象

学校教員・教育行政担当者・社会教育
関係者・学生等の学校関係者

＜事前申し込み方法＞ 参加費：無料

対面(先着150人)とオンラインのハイブリッドで実施します。
以下のフォームより申し込みください。

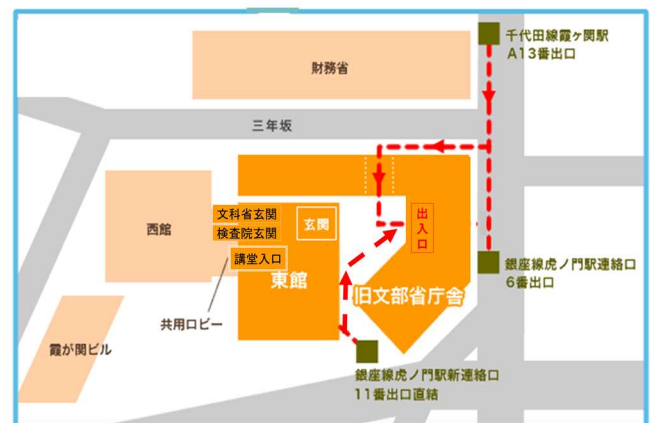
申し込み期間:2022年1月7日9時～1月29日9時まで
申し込みフォームURL(右のQRコードから申込できます)
<https://pro.form-mailer.jp/fms/6b49e8f1245135>



会場案内

文部科学省 旧庁舎第2講堂

所在地:東京都千代田区霞が関3-2-2
※休日のため旧庁舎と新庁舎の
間にある裏口から入館ください。



Tokyo Gakugei University

主催:東京学芸大学 鈴木聡 研究室
Mail:asoviva@u-gakugei.ac.jp



児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集作成委員会 (スポーツ庁委託事業) 成果報告会

日時 令和4年(2022年)2月11日(金・祝) 13:10~17:00

場所 桐蔭横浜大学中央棟3階 C307教室
〒225-8503 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため会場参加とオンライン開催のハイブリッド型での開催とさせていただきます。(会場参加 先着100名 Zoom参加300名まで(予定))

対象 小学校・中学校・高等学校・大学教員、教育関係者、学生、保護者等の学校関係者
学校ICT開発担当者 他

目的 令和3年3月に文部科学省から示された「GIGAスクール構想の下で整備された1人1台端末の積極的な活用等について(通知)」のとおり、整備された端末がクラウド活用を基本として利活用されることが求められている。今後の保健体育におけるICT活用の可能性について明らかにするために、スポーツ庁から委託を受けた桐蔭横浜大学が拠点となり、全国の大学、教育委員会、学校の教員で構成する「児童生徒の1人1台のICT端末を活用した保健体育授業の事例集作成委員会」を組織し、現在の活用実態調査、実践事例調査、新たな可能性を探る活用検討についての研究を進め、事例集を作成した。

本報告会では、これらのことを通じて得た知見を広く小学校・中学校・高等学校の教員、教育委員会、企業や将来教員を目指す学生と共有し、これからの1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の在り方を探る。

主催 桐蔭横浜大学

共催 岩手大学、鹿屋体育大学、埼玉大学、北海道教育大学、
東海大学、東京国際大学、日本女子体育大学、北翔大学

後援 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市教育委員会、横須賀市教育委員会

概要

12:30 受付

13:10~ 挨拶 桐蔭横浜大学 学長 溝上 慎一

13:20~ 講演 初等中等教育局、学校デジタル化プロジェクトチームリーダー
学びの先端技術活用推進室長、GIGA StuDX推進チームリーダー 板倉 寛 氏
「ギガ・スクール構想が目指す未来の学校」(40分 質疑10分)

14:10 委員会報告(全体会)

~14:30 ・児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集概要について
(桐蔭横浜大学 佐藤 豊)
・体育学習におけるICT活用 全国調査の概要について
(東海大学 大越正大、茨城大学 吉野 聡)

14:40~ ICT活用の実際(分科会)※分科会に関しましては裏面に詳細がございます。
第1分科会 全国のICT活用事例
第2分科会 授業実践の成果と課題①
第3分科会 授業実践の成果と課題②

16:00~ 全体会「未来に向けた体育・保健体育のICT活用の可能性」

16:50~ 挨拶 スポーツ庁政策課 教科調査官 関 伸夫 氏

16:55 終了 アンケート

その他

- ・本成果報告会の参加費は無料です。
- ・参加ご希望の方は、2月5日までに、下記アドレスもしくはQRコードより申し込みをお願いします。
- ・なお、会場およびZoomの設定の都合により、上限に達した場合は先着順に締め切る場合もございますので、ご了承ください。
<https://forms.gle/uBZpHSpbXrPvGTeNA>

申し込みQRコード

会場はこちら

会場アクセス URL <http://toin.ac.jp/univ/access/accessmap/>



ICT活用の実際 分科会

第1分科会「全国のICT活用事例」(会場 301)進行;石川 泰成(埼玉大学)

No	テーマ(報告者)10分 質疑5分	概要
1. 14:40~14:55	福岡県・長崎県 小学校球技 藤田 弘美(行橋市立泉中学校)	指導と評価の計画に基づいて、ICT活用の目的を明確にした小学校での実践について、陸上運動(走り高跳び)とゲーム(ソフトバレーボール)の事例を紹介する。
2. 14:55~15:10	宮城県・福島県 中学校球技・器械運動 安田 篤史(福島県教育庁健康教育課)	デジタルホワイトボードと撮影した動画を用いて、生徒が主体的に課題把握・解決することを目指す、バレーボールと器械運動の授業事例を紹介する。
3. 15:10~15:25	東京都 中学校球技 木原 慎介(東京国際大学)	ソフトボールやハンドボール、フラッグフットボールを対象にした対面授業に、オンデマンド型のオンライン授業を組み合わせたブレンド型授業の事例を紹介する。
4. 15:25~15:40	北海道・福岡県 中学校陸上競技 森 靖明(北翔大学) 青木 哲也(北九州市立篠崎中学校)	撮影した動画や学習支援ソフトを用いて、生徒が自身の動きの特徴を客観的に分析、理解した上で改善に取り組む陸上競技(短距離走・ハードル走・走り幅跳び・走り高跳び)の事例や実践を合わせて紹介する。
5. 15:40~15:55	兵庫県 体育理論(中学校、高等学校) 大谷 麻子(神戸大学附属中等教育学校)	プレゼンテーションソフトとクラウドを活用した発表資料の協働的な作成を通じて、思考し判断する能力・他者に伝える能力の育成を目指した授業事例を紹介する。

第2分科会「授業実践の成果と課題①」(会場 302)進行;高橋 修一(日本女子体育大学)

No	テーマ(報告者)	概要
1. 14:40~14:55	体づくり運動 中学校 清田 美紀(東広島市教育委員会)	学習支援ソフトを用いて、一人一人の特性や体力の状況に応じて生徒自らが自主的に運動の計画を立てるとともに、遠隔による修正のアドバイスを行うなど、よりよい課題解決を図る授業実践の成果を発表する。
2. 14:55~15:10	器械運動・保健(傷害の防止) 岩佐 知美(高槻市立阿武野中学校)	付箋機能ソフトや動画編集ソフトを用いて知識と技能の関連を図ったマット運動の授業実践及び学習支援ソフトを用いて応急手当の基本的な技能を身に付け、傷害の防止に関する知識の理解を深める授業実践の成果を発表する。
3. 15:10~15:25	球技(ネット型) 高等学校 薄井 純一(福岡県体育研究所)	Wi-Fi環境が整備されていない体育館内でも、プレゼンテーションソフトを用いることで、生徒個人の課題に合わせた動きのモデルを提示可能にしたバドミントンの授業実践を発表する。
4. 15:25~15:40	球技(ゴール型) 中学校 後藤 真一郎(大分市立上野ヶ丘中学校)	動画編集ソフトなどを用いて、球技領域と「体づくり運動」および「体育理論」との関連を図り、よりよい課題解決を図るバスケットボールの授業実践を発表する。
5. 15:40~15:55	ダンス 中学校 梶 ちか子(鹿屋体育大学)	撮影された動画を基にダンスにおける動作・隊形移動・隊形変化を可視化するなど、イメージを動きに繋げる取組を支援することで一人一人の違いを認め合うICT機器を活用したダンス授業の実践を発表する。

第3分科会「授業実践の成果と課題②」(会場 307)進行;村中田 博(綾町教育委員会)

No	テーマ(報告者)	概要
1. 14:40~14:55	水泳 高等学校 佐藤 若(山形県立上山明新館高等学校)	デジタルコンテンツを活用して合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して成果や改善すべきポイントを検討するとともに、提示された練習方法の動画から練習内容の有効な選択を目指す水泳の授業実践の成果を発表する。
2. 14:55~15:10	武道(剣道) 中学校 本多 壮太郎(福岡教育大学)	教師がICTを活用して動画を作成することで、効果的に生徒が知識を習得するとともに、学習への見通しの高まりや学習意欲の向上などを目指す剣道の授業実践を紹介する。
3. 15:10~15:25	武道(柔道) 高等学校 瀬尾 一幸(神奈川県立総合教育センター)	専門家による遠隔授業を取り入れることで、技能の習得、課題解決の学習の質を高めるとともに、教師の資質向上を目指した柔道授業の実践例を発表する。
4. 15:25~15:40	球技(ネット型)、多視点化 中学校 清水 将(岩手大学)	バドミントンやバレーボールを対象に、AIテキストマイニングなどを用いた思考の可視化や高所撮影映像の活用による学習と指導の最適化を目指した授業実践の成果を紹介する。
5. 15:40~15:55	ICTにおけるユニバーサル・デザイン 清水 由(桐蔭横浜大学)	ICTを活用した授業実践を、ユニバーサル・デザインの観点から考察する。ICTを用いて共有化、視覚化できることが児童生徒の資質能力の向上にどのようにつながるか検討する。

全体会「未来に向けた体育・保健体育のICT活用の可能性」 16:00~16:50 (会場 307)

1 先進事例検討部会「クラウドによる保健体育のICT活用の未来」

No	テーマ(報告者)	概要
1. 16:00~16:10	対話を促すICT活動、教員研修 中島 寿宏(北海道教育大学札幌校)	生徒数が少ない学校でのICT活用の可能性や、教員が思考・判断などの能力を客観的に評価することを助けるようなICT活用の可能性などについて発表する。
2. 16:10~16:15	部活動遠隔地支援の可能性 山崎 悦宏(横浜市教育委員会)	産・官・学が連携し、スポーツ系大学生が中学生に技術指導を行う遠隔システムの構築を通じて、運動技術の遠隔部活動指導を可能にするようなICT活用の方法を発表する。
3. 16:15~16:20	未来のICTの可能性を探る 林田 はるみ(桐蔭横浜大学)	別の技術(異業種)との連結やウェアラブルデバイスの使用など、健康・安全な体育授業を目指したICT活用の可能性について発表する。

2 意見交換「体育科・保健体育科におけるICT活用の可能性」

問い合わせ先

児童生徒の1人1台のICTを活用した保健体育授業の事例集作成委員会事務局

< 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部スポーツ教育学科 木原 洋一 >

E-mail: ykihara@toin.ac.jp TEL & FAX: 045-974-5265(木原研究室直通)

住所: 〒225-8503 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614番地